

STEP4. 本人・家族への計画原案の説明・提案時の確認ポイント

☑	確認ポイント	目的・項目解説	振り返り
☐	利用者の生活意欲を引き出すような提案をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日常生活は、基本的には本人が主体的に(自分なりに)組み立てていくものです。生活の維持・向上に対する本人の意欲があってはじめて、生活上の様々な問題を自らのこととして解決できるようになるのです。 ➤ 個人ごとに意欲の程度に差はありますが、本人が楽しみのある生活をイメージできるように支援職が働きかけ、意欲の向上をはかることが大切です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 設定した目標に向かって、本人が主体的に参加できているか。
☐	地域資源による支援が必要である理由とその目的を伝え、理解を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アセスメントを通して把握した、望む暮らしや取り戻したい習慣に対する「課題」や「目標」に向けて、本人・家族も巻き込んでいるか確認します。 ➤ どのような目的をもった提案なのか、支援職としての客観的な根拠をわかりやすく示すことが大切です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ なぜ地域資源による支援が必要なのか、根拠をもった提案ができているか。 ◇ 事故のリスクと日常生活の喪失に伴う様々なリスクを比較検証できているか。
☐	目標達成に必要な本人・家族の役割などを、わかりやすく示している。	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 日常生活は、基本的には本人が主体的に(自分なりに)組み立てていくものです。 ➤ 本人・家族による主体的な行動が望める場合には、目標達成に必要なとなる生活上の工夫や活動・役割などをわかりやすく示し、意識を共有することが大切です。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 本人が主体的に参加するため、役割などを示しているか。 ◇ 設定した目標が共有されているか。

検討事例

